

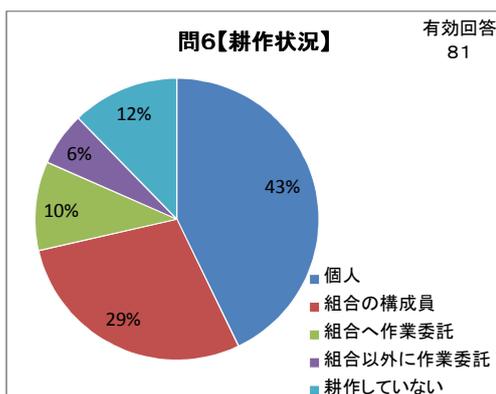
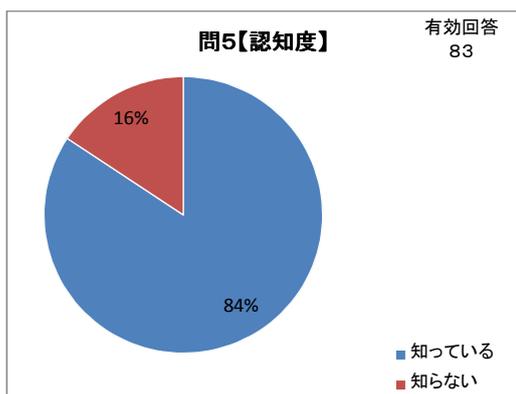
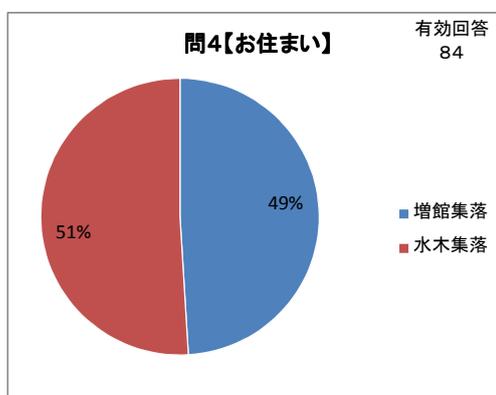
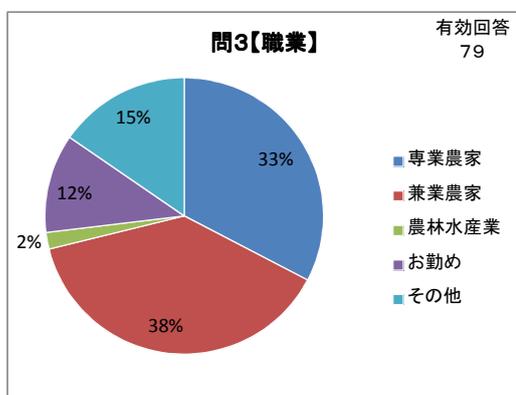
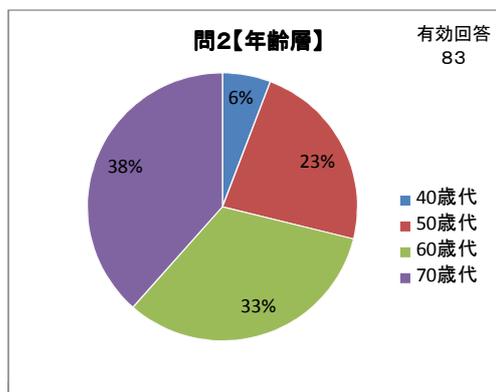
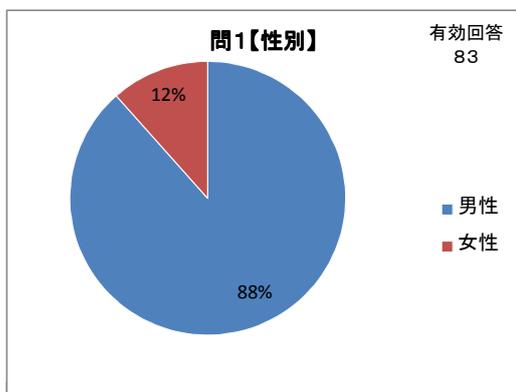
(別紙)

事後評価アンケート結果

整理番号 H23 - 1

事業名	緊急農地集積ほ場整備事業	箇所名等	増館
-----	--------------	------	----

アンケート対象	ほ場整備事業の受益者を中心に関係する増館集落(青森市)と水木集落(藤崎町)の一部世帯		
配布方法	浅瀬石川土地改良区の組合員が各戸に直接配布	(配布部数)	143部
回収方法	郵送(受取人払)による回収	(回収部数)	84部
回収率	58.70%		
アンケート結果			

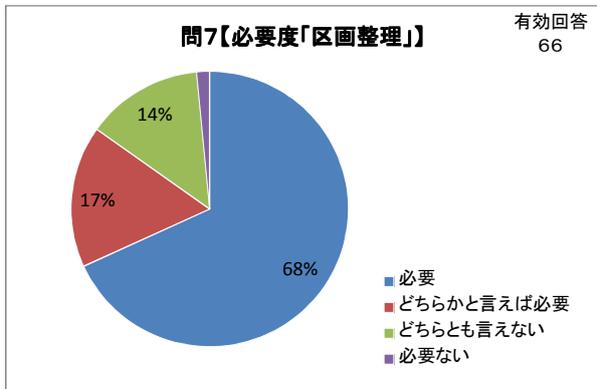


事後評価アンケート結果

整理番号 H23 - 1

事業名	緊急農地集積ほ場整備事業	箇所名等	増館
-----	--------------	------	----

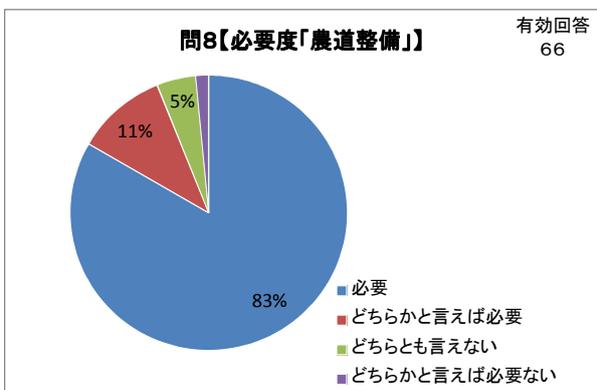
アンケート結果



問7 区画整理の必要度
「増館地区」ほ場整備事業で実施した、約1ヘクタールの区画整理(大区画化)は必要だったと思いますか。

◎必要度についての意見内容

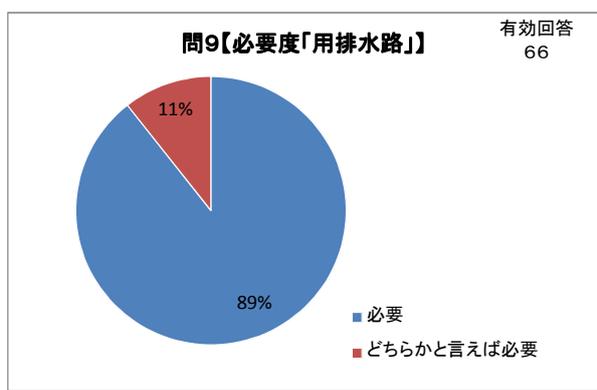
- 必要(どちらかと言えば必要)
大型機械の導入で作業効率が向上する…(10件)
人口減少に対応するために組合などを作る必要がある
- どちらとも言えない
持ち分が少ないから
風が吹くと水が片寄る



問8 農道整備の必要度
「増館地区」ほ場整備事業で実施した、広い農道整備は必要だったと思いますか。

◎必要度についての意見内容

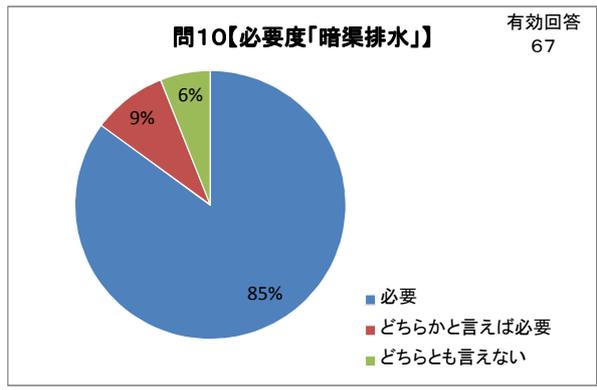
- 必要(どちらかと言えば必要)
作業機械の大型化が可能となった…(8件)
機械の退避場所として活用できる
車の移動が容易になった …(3件)
- どちらとも言えない
砂利道のほこりが樹園地に影響ある



問9 用水路、排水路の必要度
「増館地区」ほ場整備事業で実施した、コンクリートの用水路、排水路は必要だったと思いますか。

◎必要度についての意見内容

- 必要(どちらかと言えば必要)
水路の維持管理が容易になった …(8件)
コンクリートのためねずみ穴が無くなった
全てパイプラインにすれば効率的



問10 暗渠排水の必要度
「増館地区」ほ場整備事業で実施した、水はけを改善する暗渠排水整備は必要だったと思いますか。

◎必要度についての意見内容

- 必要(どちらかと言えば必要)
転作作物の作付が可能となった …(9件)
水はけが良くなり、作業効率が上がった …(5件)
- どちらとも言えない
冬に工事をしたために一部で陥没が見られる

事後評価アンケート結果

整理番号 H23 - 1
増館

事業名	緊急農地集積ほ場整備事業	箇所名等	増館
-----	--------------	------	----

アンケート結果																	
<p>問11【必要度「全体」】 有効回答 67</p> <table border="1"> <tr><th>回答内容</th><th>割合</th></tr> <tr><td>必要</td><td>75%</td></tr> <tr><td>どちらかと言えば必要</td><td>18%</td></tr> <tr><td>どちらとも言えない</td><td>7%</td></tr> </table>	回答内容	割合	必要	75%	どちらかと言えば必要	18%	どちらとも言えない	7%	<p>問11 全体的な必要度 全体として「増館地区」ほ場整備事業は必要だったと思いますか。</p> <p>◎必要度についての意見内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ■必要(どちらかと言えば必要) <ul style="list-style-type: none"> 作業効率が格段にあがった・・・(3件) 点在していた水田が集約されて作業が容易になった 大型作業体系になるために必要・・・(2件) 個人では無理。事業だとコストも安いし、集団化もできる これから田を作る人がいなくなるから 農業従事者の高齢化と人手不足のため必要 								
回答内容	割合																
必要	75%																
どちらかと言えば必要	18%																
どちらとも言えない	7%																
<p>問12【達成度「労働時間」】 有効回答 67</p> <table border="1"> <tr><th>回答内容</th><th>割合</th></tr> <tr><td>縮減した</td><td>70%</td></tr> <tr><td>どちらかと言えば縮減</td><td>19%</td></tr> <tr><td>変わらない</td><td>5%</td></tr> <tr><td>どちらかと言えば増加</td><td>3%</td></tr> <tr><td>わからない</td><td>3%</td></tr> </table>	回答内容	割合	縮減した	70%	どちらかと言えば縮減	19%	変わらない	5%	どちらかと言えば増加	3%	わからない	3%	<p>問12 労働時間に関する達成度 「増館地区」ほ場整備事業の実施により、水稻栽培の10アール当たりの労働時間は事業実施前と比べてどう変化したと思いますか。</p> <p>◎達成度についての意見内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ■労働時間が縮減した <ul style="list-style-type: none"> 大型機械による作業体系が確立した・・・(2件) 農地の集積が進んだため・・・(2件) 				
回答内容	割合																
縮減した	70%																
どちらかと言えば縮減	19%																
変わらない	5%																
どちらかと言えば増加	3%																
わからない	3%																
<p>問13【達成度「収量」】 有効回答 63</p> <table border="1"> <tr><th>回答内容</th><th>割合</th></tr> <tr><td>増加した</td><td>10%</td></tr> <tr><td>どちらかと言えば増加</td><td>22%</td></tr> <tr><td>変わらない</td><td>51%</td></tr> <tr><td>どちらかと言えば減少</td><td>3%</td></tr> <tr><td>減少した</td><td>3%</td></tr> <tr><td>わからない</td><td>3%</td></tr> <tr><td>増加した(両方)</td><td>11%</td></tr> </table>	回答内容	割合	増加した	10%	どちらかと言えば増加	22%	変わらない	51%	どちらかと言えば減少	3%	減少した	3%	わからない	3%	増加した(両方)	11%	<p>問13 収量増加に関する達成度 「増館地区」ほ場整備事業の実施により、水稻栽培の10アール当たりの収量は事業実施前と比べてどう変化したと思いますか。</p> <p>◎達成度についての意見内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ■収量が増加した <ul style="list-style-type: none"> 畦畔が無くなり、作業効率が向上した ■収量が減少した <ul style="list-style-type: none"> 土づくりに未だ時間を要する
回答内容	割合																
増加した	10%																
どちらかと言えば増加	22%																
変わらない	51%																
どちらかと言えば減少	3%																
減少した	3%																
わからない	3%																
増加した(両方)	11%																
<p>問14【達成度「農作業の集約」】 有効回答 61</p> <table border="1"> <tr><th>回答内容</th><th>割合</th></tr> <tr><td>増加した</td><td>39%</td></tr> <tr><td>どちらかと言えば増加</td><td>25%</td></tr> <tr><td>変わらない</td><td>32%</td></tr> <tr><td>どちらかと言えば減少</td><td>4%</td></tr> </table>	回答内容	割合	増加した	39%	どちらかと言えば増加	25%	変わらない	32%	どちらかと言えば減少	4%	<p>問14 農作業の集約に関する達成度 「増館地区」ほ場整備事業の実施により、「増館営農組合」といった地域農業の担い手への「農作業の集約」は事業実施前と比べてどう変化したと思いますか。</p> <p>◎達成度についての意見内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ■増加した <ul style="list-style-type: none"> 営農組合ができて、作業が集約された・・・(2件) ■変わらない <ul style="list-style-type: none"> 水木集落は個人作業が主なので集落営農に興味がない 						
回答内容	割合																
増加した	39%																
どちらかと言えば増加	25%																
変わらない	32%																
どちらかと言えば減少	4%																

事後評価アンケート結果

整理番号 H23 - 1

事業名	緊急農地集積ほ場整備事業	箇所名等	増館
-----	--------------	------	----

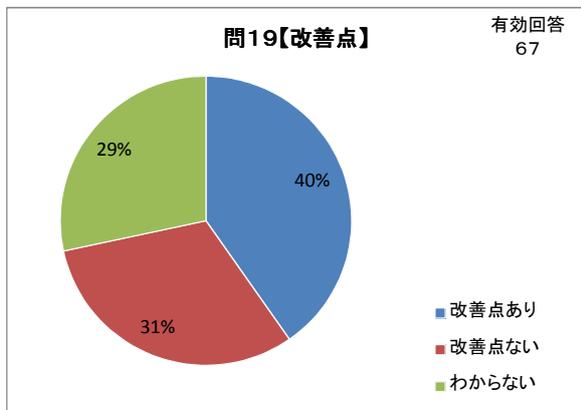
アンケート結果	
<p>問15【達成度「耕作放棄地対策」】 有効回答 64</p> <p>■ 効果あり ■ どちらかと言えば効果あり ■ どちらとも言えない ■ 効果ない ■ わからない</p>	<p>問15 耕作放棄地の発生抑制に関する達成度</p> <p>「増館地区」ほ場整備事業の実施は、耕作放棄地の発生抑制に効果があったと思いますか。</p> <p>◎達成度についての意見内容</p> <p>■効果あり ほ場条件が良いので、借り手がある・・・(2件) 大区画のため、組合で作業が可能 条件が良くなったので田をつける人が増えた</p>
<p>問16【達成度「事業の目的」】 有効回答 66</p> <p>■ 達成した ■ どちらかと言えば達成した ■ どちらとも言えない ■ どちらかと言えば達成しない ■ わからない</p>	<p>問16 全体的な達成度</p> <p>全体として、「増館地区」ほ場整備事業の完成した結果を見て、農業生産性の向上(労働時間の短縮、収量の増加などのこと)などの事業目的が達成されたと思いますか。</p> <p>◎達成度についての意見内容</p> <p>■事業目的を達成した 全てが達成され、他集落からうらやましがられている 労働時間の短縮は達成された</p>
<p>問17【管理状況】 有効回答 66</p> <p>■ 適切 ■ どちらかと言えば適切 ■ どちらとも言えない ■ どちらかと言えば適切でない ■ わからない</p>	<p>問17 管理状況</p> <p>「増館地区」ほ場整備事業で実施した「農道、用水路、排水路、田んぼ、暗渠排水」は農業者の方々や浅瀬石川土地改良区(小阿弥地区)が管理していますが、管理は適切に行われていると思いますか。</p> <p>◎管理状況についての意見内容</p> <p>なし</p>
<p>問18【環境変化】 有効回答 65</p> <p>■ 良くなった ■ どちらかと言えば良くなった ■ 変わらない ■ どちらかと言えば悪くなった ■ わからない</p>	<p>問18 環境変化</p> <p>「増館地区」ほ場整備事業実施により、環境の状況は事業実施前と比べてどう変化したと思いますか。</p> <p>◎環境変化についての意見内容</p> <p>■わからない 作業は良くなったが、小魚が減った 地区外の水路が未整備で悪臭が発生している 質問が難し過ぎる</p>

事後評価アンケート結果

整理番号 H23 - 1
増館

事業名	緊急農地集積ほ場整備事業	箇所名等	
-----	--------------	------	--

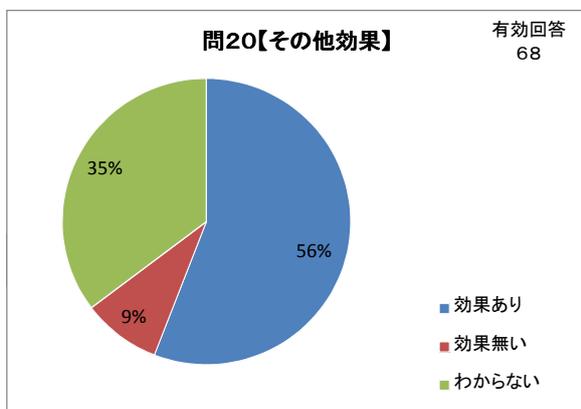
アンケート結果



問19 改善点
「増館地区」ほ場整備事業で行った工事や完成した施設(農道、用水路、排水路、田んぼ、暗渠排水)について、改善したほうが良いと思う点がありますか。

◎改善点についての意見内容

- 改善点あり
 - 暗渠排水の効き目が悪くなってきた・・・(4件)
 - 用水路が低く、水量が不足している・・・(3件)
 - 用水路にゴミが多い・・・(1件)
 - 排水路が深すぎて、法面が崩れやすい・・・(2件)
 - 暗渠排水による地下かんがい工法を導入してほしい
 - コンクリート水路を増やしてほしい
 - 施工業者の違いによって均平度の善し悪しがある



問20 その他効果
「増館地区」ほ場整備事業で行ったことが地域活性化に結び付いたなど、農業生産性の向上(労働時間の短縮、収量の増加などのこと)などの事業目的に掲げたもの以外に効果があったと思いますか。

◎その他効果についての意見内容

- その他の効果あり
 - 他の地区の区画整理の手本となった・・・(2件)
 - 稲わら全て畜産農家へ引き渡し、焼却はゼロになった
 - バサラコーンの作付で活性化できた
 - 若い農業後継者のUターンが見られる
 - 周辺を散歩できるようになった
 - もし、田を売るときでも、買ってくれる人がいる

問21【その他意見(アンケート対象事業)】

- ・用水路が統合されたことにより、下流における水の流れが弱くなった
- ・農業者の負担割合が低く大変助かっている
- ・農道を舗装してもらいたかった
- ・農道が良くなり、関係ない車が多く走るようになった

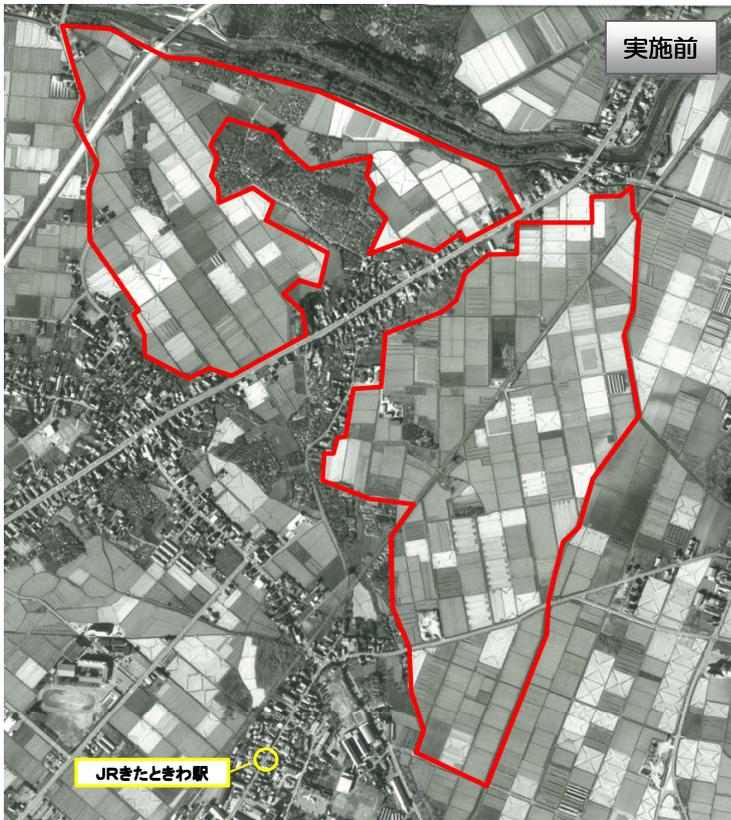
問22【その他意見(公共事業全般)】

- ・地域住民と話し合いをして、反省の少ない事業にしてほしい
- ・対象地区全員が参加できればよかったと思う
- ・ほ場整備事業はもっと他の場所でも行ってほしい
- ・完了後2～3年は補完対応してほしい
- ・必要な公共事業は行うべき
- ・畜産農家は作業も一番しやすいと言っている

事後評価箇所状況写真

整理番号 H23 - 1

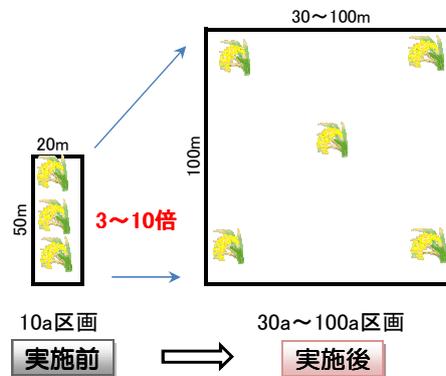
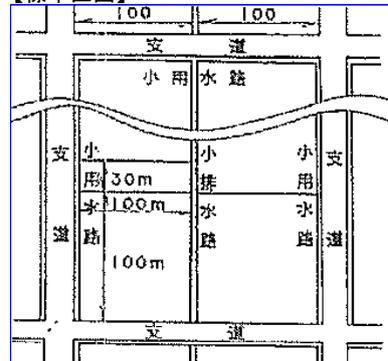
事業名	緊急農地集積ほ場整備事業	箇所名等	増館
-----	--------------	------	----



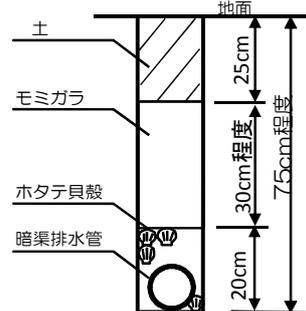
【水田の区画について】

事業実施前は、10a(約20m×50m)区画であったが、実施後は、30a(30m×100m)～100a(100m×100m)の大区画となり、そのうち50a区画以上が全体の71%、100a区画以上が全体の35%を占めている。

【標準区画】



モミガラとホタテ貝殻を使用した暗渠排水



事後評価箇所状況写真

整理番号 H23 - 1
増館

事業名	緊急農地集積ほ場整備事業	箇所名等	
-----	--------------	------	--

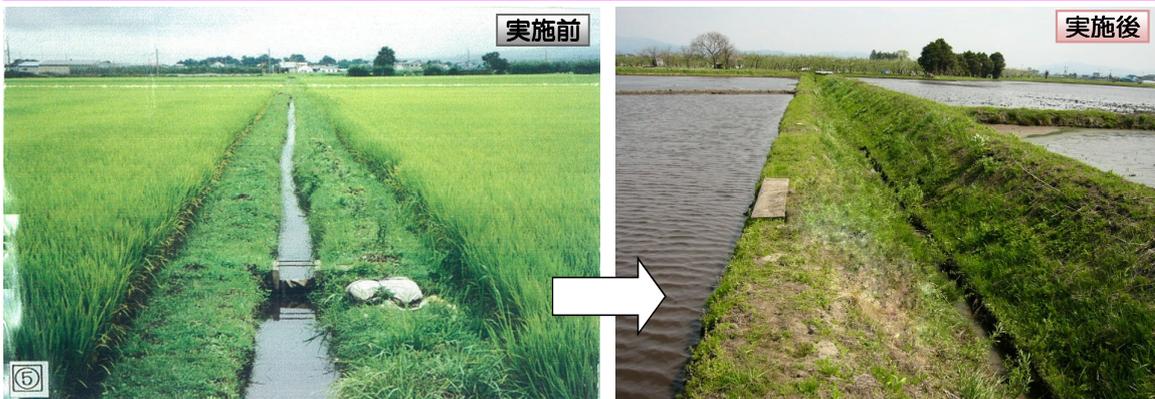
◆地区内の整備状況

■ 農道整備 (狭い農道から広い農道へ)



実施前の農道は、幅2メートルと狭く、農業機械のすれ違いが困難な状態であったのが、実施後は、幅4メートルの広い農道となり農業機械のすれ違いも可能となった。

■ 用水路、排水路整備 (用水と排水の兼用の土水路からコンクリートの水路へ)



実施前の水路は、用水と排水が兼用の土水路で、深さが足りないため排水不良の状態であったが、用水路と排水路を分離させ、排水路を深くし、排水不良の改善を図った。

■ 暗渠排水整備 (水はけを改善し水田の畑利用へ)



水はけが悪く「ぬかるむ」水田が、暗渠排水の施工により排水条件が改良（乾田化）され、水田での小麦やバサラコーンなどの作付けが可能となった。

事後評価箇所状況写真

事業名	緊急農地集積ほ場整備事業	箇所名等	整理番号 H23 - 1 増館
-----	--------------	------	--------------------

◆農業機械の大型化

増館地区で活躍する大型農業機械



大型クローラトラクタによる代掻き作業



乗用型8条田植機による田植え作業



コンバイン6条による収穫作業

◆余剰労力を活用した転作作物の栽培促進

バサラコーンの栽培

増館営農組合では、水稻での余剰労力を活用し、転作田で「バサラコーン」栽培に取り組んでいる。昨年度は浪岡地区全域で17.0haを作付し、ここ増館地区では2.8ha作付している。

播種や収穫作業は組合員全員の出役とし、機械作業はオペレータ(担い手)が行っている。各種イベントで直売会を開催するなど、積極的に消費拡大に向けた取り組みを展開中である。

- ◆品種: あどはだりコーンR
- ◆栽培時期: は種4月下旬～6月下旬、収穫7月下旬～9月上旬
- ◆特徴: 一般のコーンより2～3割大きく、糖度16～17度と果物並みの甘さが特徴

青森市内で
即売会開催



収穫された
バサラコーン



費用対効果分析説明資料

整理番号 H23 - 1

事業名	緊急農地集積ほ場整備事業	箇所名等	増館
-----	--------------	------	----

【費用対効果の算定内容】

1 費用対効果の算定根拠

本地区の費用対効果は、「土地改良事業における経済効果の測定方法」(農林水産省)に基づき算定した。

- (1) 評価基準年度 : 平成23年度
 (2) 評価方式 : 投資効率方式

2 総効果額(B)の算定

(1) 年総効果額 (単位: 千円)

効果項目	年総効果額	主な内容
(1) 作物生産効果	3,345	
作物生産効果	3,345	単収や作付面積の増加による作物生産量の増減効果
(2) 農業経営向上効果	101,784	
営農経費節減効果	87,607	営農技術体系や経営規模等が変化することに伴う営農経費の増減効果
維持管理費節減効果	14,177	施設の維持管理費の増減効果
(3) 生産基盤保全効果	8,402	
更新効果	8,402	老朽化等により機能が低下した施設を改良又は更新した場合に農業生産が維持される効果
(4) 合計	113,531	

(2) 総効果額(B)

総効果額(B)は、施設の耐用年数期間内に発生する効果の総額であり、年効果額を基に耐用年数に応じた資本還元率や建設利息率を用い、妥当投資額として算出する。

名称	算定値	主な内容
総合耐用年数	41年	各施設の耐用年数の加重平均値
算出係数	0.0516	資本還元率×(1+建設利息率)による 0.0500×(1+0.0325) 上記の率は総合耐用年数で定まる
妥当投資額(総効果額)	2,200,213	年効果額÷算出係数

3 総費用(C)の算定

区分	費用(千円)	主な内容
(1) 本事業	1,564,008	事業期間H11~H18
(2) 関連事業	227,918	※1
(3) 合計	1,791,926	

※1 関連事業は、国営浅瀬石川地区かんがい排水事業小阿弥幹線用水路、県営浅瀬石川地区かんがい排水事業 牡丹森排水路及び県営浅瀬石川2期地区かんがい排水事業 水木・仁左衛門用水路

4 費用対効果分析の結果

$$B(\text{総効果額}) / C(\text{総費用}) = 2,200,213 \text{ (千円)} / 1,791,926 \text{ (千円)} = 1.23$$

公共事業再評価調書

整理番号 H16 - 4

担当部課室名	農林水産部 農村整備課	電話番号	017 - 734 - 9554
		E-MAIL	NOSONSEIBIKA @ags.pref.aomori.jp
再評価実施要件	未着工	長期継続 (5年)	再評価後 (年)
			その他 ()

1 事業概要

事業種別	農業農村整備事業	事業主体	県	市町村	その他 ()			
事業名	県営緊急農地集積ほ場整備事業	地区名等	増館	市町村名	浪岡町 常盤村			
事業方法	国庫補助 県単独	財源・負担区分	国50.0%	県37.5%	市町村10.35% その他2.15%			
採択年度	平成11年度(用地着手) 平成13年度 / 工事着手 平成13年度							
終了予定年度	平成17年度 (年 月計画変更 当初計画時 年度)							
事業目的	本事業は、区画整理や暗渠排水等を一体的に実施することにより、農業の生産性の向上を図り、これを契機として担い手への農地の利用集積を促進し、将来の農業生産を担う効率的かつ安定的な経営体の育成を図る。							
主な内容	区画整理工A = 74.4ha、暗渠排水工A = 74.4ha							
事業費	採択時総事業費 1,508 百万円 (単位:百万円)							
		~13年度	14年度	15年度	16年度	小計	17年度~	合計
	計 画	370	350	415	150	1,285	223	1,508
	(うち用地費)	(6)	(10)	(2)	(8)	(26)	(0)	(26)
年 月変更								
実 績	370	350	415	150	1,285	142	1,427	
(うち用地費)	(6)	(10)	(2)	(8)	(26)	(0)	(26)	

2 評価指標及び項目別評価

(1) 事業の進捗状況

(A) · B · C

事業の進捗状況	事業費割合		計画全体に対する進捗		年次計画に対する進捗	
	(うち用地費)		90% [/]		100% [/]	
			(100%) [/]		(100%) [/]	
	主要工種毎割合 (事業費)	区画整理工(992百万円)	面積割合	100%	面積割合	100%
	暗渠排水工(134百万円)	面積割合	100%	面積割合	100%	
説明	今後は道路の舗装等の補完工事と農家に農地を配分する換地業務だけとなりほぼ計画どおりに進捗している。					
問題点・解決見込み	-					
事業効果発現状況	区画整理が既に終了し作付を開始していること、平成15年度時点の生産組織への作業委託面積が、事業実施前の12.4haから19.2haとなっており、事業目標である集積面積24.0haの80%に達していることから、効果は既に発現されている。					

(2) 社会経済情勢の変化

(A) · B · C

社会的評価	全国・本県における評価	<p>〔全国の評価〕</p> <p>国が平成14年12月3日に公表した「米政策改革大綱」では、地域の实情にあった産地づくりと担い手の育成などが重要な施策として位置づけられており、これらを積極的に推進するためにほ場整備事業は有効である。</p>	<p>〔県内の評価〕</p> <p>本県農業は県経済を支える基幹産業であることから、今後ともその振興に努める。県が平成15年12月に制定した青森県米づくり改革計画では、地域の担い手のさらなる育成や転作の本作化などを県の基本方針としており、ほ場整備事業はこれらを整備するための条件整備を行うもので今後の農業・農村の振興に有効である。</p>
	当地区における評価	浪岡町では、「米+りんご」の土地利用型作物を基幹とした安定複合型経営農家の育成と生産組織の活動を助長し、農業経営の安定を図り豊かで魅力ある農村の建設を目指している。このため、まず農業生産基盤の整備を全町的に進めて土地の高度利用の促進と、担い手農家を中心とした機械の協同利用、協同作業による集落営農組織の育成を図り、地域農業の確立を図ることとしており、ほ場整備事業は有効である。	
必要性	本地区は、昭和27～30年に積寒事業により107-ル区画に整備されている地区であるが、今では区画が狭小で、農道及び用排水路の利便が悪く、大型農業機械の導入が困難となっていることから農地流動化の阻害要因となっており、ほ場整備事業による生産基盤整備の必要性が高まっていた。		(a) · b
適時性	大部分が2種兼業農家であること、農業従事者の高齢化が進行していることから、ほ場整備事業実施による生産基盤整備の要望が強かった。 また、今後米政策改革に対応していくため、担い手の育成と生産性向上にほ場整備事業は有効な手段である。		(a) · b
地元の推進体制等	事業採択申請時の同意率は98%(112人/115人)であったが、地元関係者全員からの了解を得た後に工事着手している。また、事業実施期間中にも、随時、中南方農林水産事務所、浪岡町、常盤村、受益者代表委員による打合せ会を開催し、合意形成を図り事業を実施している。		(a) · b
効率性	ほ場整備事業を契機に、事業実施前には2生産組織であった組合が増館トラクター組合に統合され、さらには、作業受託面積が大幅に増加しており、農業構造の再編・強化に資するものとなっている。		

(3) 費用対効果分析の要因変化

(A)・B・C

区分	主な項目	計画時	再評価時	増減
費用項目 (C)	(1)区画整理工	1,109 百万円	992 百万円	117 百万円
	(2)暗渠排水工	147 百万円	134 百万円	13 百万円
	(3)客土工	百万円	百万円	0 百万円
	(4)その他経費	335 百万円	372 百万円	37 百万円
	(5)関連事業	225 百万円	225 百万円	0 百万円
	総費用	1,816 百万円	1,723 百万円	93 百万円
便益項目 (B)	(1)農業生産向上効果	130 百万円	141 百万円	11 百万円
	(2)農業経営向上効果	1,806 百万円	1,791 百万円	15 百万円
	(3)生産基盤保全効果	130 百万円	163 百万円	33 百万円
	(4)	百万円	百万円	0 百万円
	(5)	百万円	百万円	0 百万円
	総便益	2,066 百万円	2,095 百万円	29 百万円
B / C		1.14	1.22	

【費用対効果分析手法】 (分析手法、根拠マニュアル等)
農林水産省構造改善局長通達 (土地改良事業における経済効果の測定方法)
【費用対効果分析における特記事項】
作物単価は下がったものの、事業費が減になったことによりB/Cはほぼ同水準にある。

(4) コスト縮減・代替案の検討状況

(A)・B・C

コスト縮減	【コスト縮減の検討状況】 ・支線道路の敷砂利、構造物基礎材に再生砕石を使用。 ・道路舗装材に再生アスファルト合材を使用。	(a)・b
代替案	【代替案の検討状況】 ・計画の樹立に当たっては、地区の設定、区画計画、用排水計画等を総合的に検討しているため、代替案はなく妥当である。 地区の設定：当該地区が一体的に整備できるよう受益農家の意向を反映する。 区画計画：整備後の作付計画等に対応した区画形状で検討する。 用排水計画：用排水不足を生じないように安全な断面を検討する。	(a)・b

(5) 評価に当たり特に考慮すべき点

(A)・B・C

住民ニーズの把握状況	【住民ニーズの把握方法】 大型機械による労働生産性の向上や農地集積の促進により地域の発展を図ることをニーズとして、受益者からの申請及び同意をもって事業を行っている。 また、事業実施にあたっては、受益者への説明会を行い、合意形成を得て事業を実施している。	【住民ニーズ・意見】 耕作土の確保、湧水処理対策、区画整理工事直後の営農指導等の要望があり関係機関が連携し対応している。	(a)・b
環境影響への配慮	【地域別環境配慮指針への適合性】 (1)地域区分 T7b (2)対応状況 配慮している 配慮していない 【特記事項】 工事実施にあたっては、低騒音、低振動、低公害機械を使用している。また、コンクリート、アスファルトは全て再生資源処理している。使用材料についても、再生砕石、再生アスファルトを使用している。 暗渠排水の被服材は地域資源の再利用を図るため、モミガラとホタテ貝殻を使用している。	【開発事業等における環境配慮指針への対応】 配慮している 配慮していない	(a)・b
地域の立地特性	本地区は、中央を走る一般県道浪岡線沿いに宅地が密集しており、北側は一級河川十川が流れ、西側は国道7号が走り、東側は奥羽本線が縦断しており、周囲を常盤村に囲まれた水田とりんごの農業地帯である。 地区の水田は農道・ほ場が狭隘であるのと用排水路が土水路のため、本事業を実施し整備することにより、大型機械化農業による農業生産性の向上、生産組織への農地集積を図る。		

3 対応方針

総合評価	継続	計画変更	中止	休止 (林政課及び漁港漁場整備課所管事業に限る)
評価理由	本事業は、地域の農業構造の再編・強化に果たす役割が大きいことから、地元要望を踏まえて平成17年度完成を目指して継続して実施する。			
備考				

4 公共事業再評価審議委員会意見

委員会意見	対応方針(案)どおり	対応方針(案)を修正すべき		
委員会評価	継続	計画変更	中止	休止 (林政課及び漁港漁場整備課所管事業に限る)
附帯意見				
評価理由				